

公共事業等施行状況調（令和5年8月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		( 8 月 末 )				
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B	5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
1	治山・治水	24,617	23,764	14,339	16,811	6,546	45.7	6,655	39.6	
2	農林・水産	31,136	32,757	23,420	24,654	11,767	50.2	12,624	51.2	
3	道 路	55,593	53,793	30,787	33,860	18,173	59.0	20,511	60.6	
4	港湾・空港	7,562	7,082	3,342	2,983	2,449	73.3	2,242	75.2	
5	下水道・公園	10,777	9,868	2,522	2,732	769	30.5	587	21.5	
6	住 宅	1,298	1,489	1,227	1,045	1,002	81.7	759	72.6	
7	庁 舎	2,374	2,467	2,103	2,315	1,788	85.0	1,507	65.1	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,558	5,802	3,929	4,519	2,255	57.4	1,573	34.8	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	84	11	3.2	70	83.3	
12	災害復旧	5,822	602	5,200	457	2,402	46.2	105	23.0	
13	その他	6,453	7,521	4,259	4,255	2,214	52.0	2,078	48.8	
	計	153,442	146,093	91,472	93,714	49,375	54.0	48,711	52.0	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年8月末）

（単位：社、件、百万円、％）

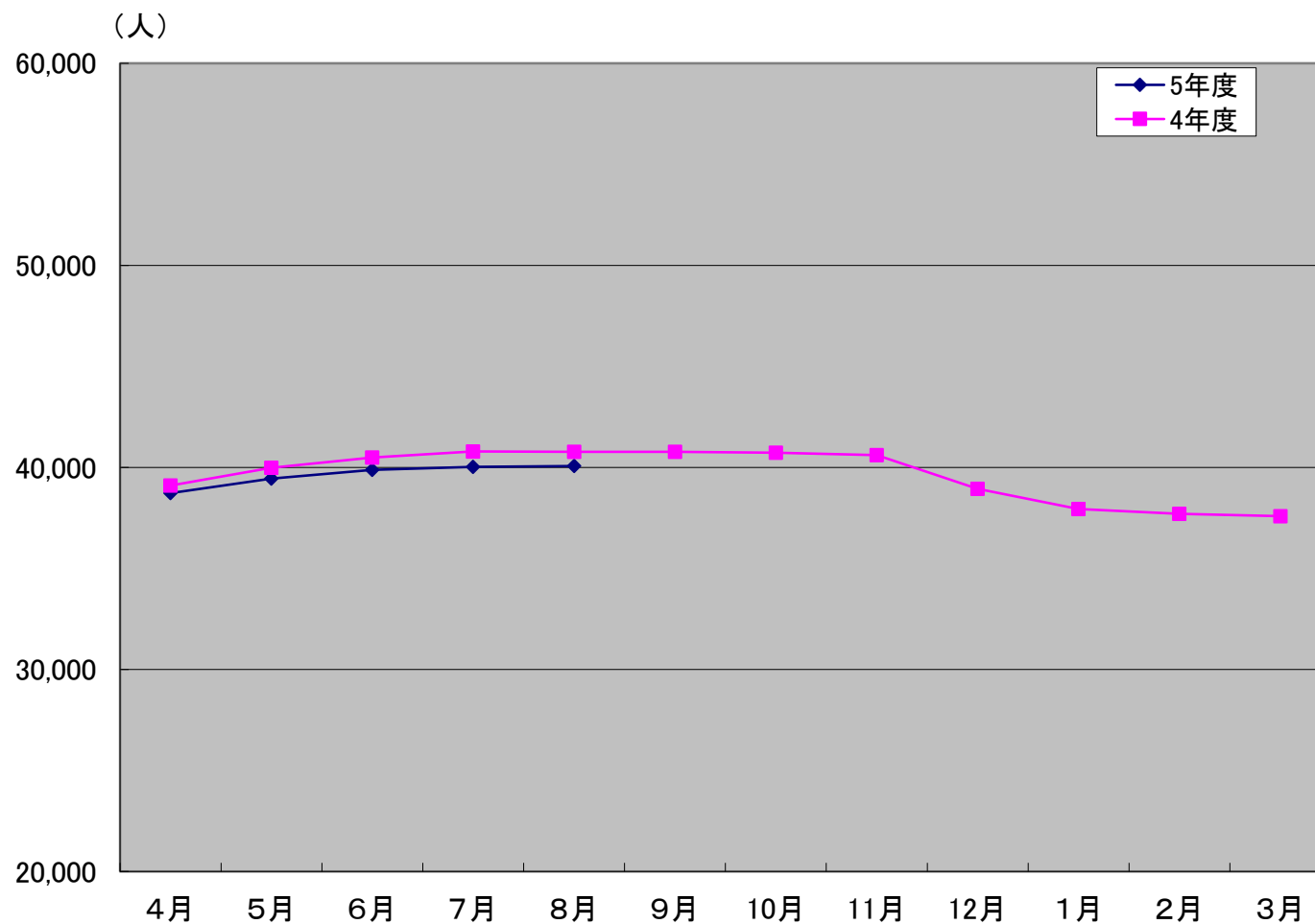
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
5年度	153,442	91,472	13,945	1,291	49,375	13,624	1,226	42,993	277	50	2,340	44	15	4,042
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					54.0	97.7	95.0	87.1	2.0	3.9	4.7	0.3	1.1	8.2
前年度比	105.0	97.6	105.7	103.2	101.4	105.3	102.8	99.3	130.0	113.6	101.3	104.8	107.1	129.4
4年度	146,093	93,714	13,194	1,251	48,711	12,939	1,193	43,276	213	44	2,310	42	14	3,125
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					52.0	98.1	95.4	88.9	1.6	3.5	4.7	0.3	1.1	6.4

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月	39,880	40,493
7月	40,020	40,790
8月	40,068	40,778
9月		40,773
10月		40,728
11月		40,608
12月		38,934
1月		37,942
2月		37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	40,020
資格取得者数	495
資格喪失者数	444
転入者数	1
転出者数	4
今月末被保険者数	40,068

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)8月末



建設資材の需給・価格動向調査 (5年9月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○		普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。7月の青森県内の販売量は2万9千トン(協会調べ)で前年同月比15.7%減。主たる用途の生コン出荷量が全国的に低調であることも影響し、国内需要の低迷が続いている。一方、メーカー各社は、目標とした値上げが浸透した現行販売価格を維持することで、悪化した事業採算の改善を進めていきたい意向にある。値上げ要因となった石炭相場にも目立った動きは見られない。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○		道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加。コンクリート製品メーカー各社は、セメント、電力料金の値上がりや輸送コストの増加を理由に、値上げの上積みを求め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の8月の出荷量は3万9千m3(生コン工組調べ)で前年同月比3.3%の増加。小規模工事向けが中心で県内全体の生コンの商況は盛り上がり欠いている。セメントや骨材などの値上げ要請があるなか、一部メーカーは、輸送コスト増加や原材料価格の上昇による採算悪化回避のため、今年度2度目の値上げを表明している。メーカーのこうした動きに、需要家は値上げに難色を示しつつも安定調達を優先し、八戸で値上げの一部が浸透した。メーカー各社は引き続き交渉を継続する構えだが、浸透には時間を要しそう。先行き、横ばいの公算大。
砕 石		○			○			○			○			○			○			○			○		生コン用、道路用とも大口物件は少なく、需要は盛り上がり欠ける状況が続く。一部メーカーでは、運転手確保に向けた輸送コストの増加や燃料費の高止まりが経営を圧迫する状況が続いており、今年度2度目の値上げを表明している。一方、物件ごとの採算確保を優先する需要家の購入姿勢は厳しく、値上げ受け入れには慎重な姿勢を崩していない。需給双方の主張は平行線をたどっており交渉は難航している。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○		SD295・D16でトン当たり114,000円と前月比2,000円の続落。盆明け以降も需要回復の兆しは見えず、市中取引は閑散としている。メーカー各社は採算確保の姿勢から需要見合いの生産体制を敷いて安値販売を避けているものの、流通筋による限られた取引を巡る激しい受注競争が広がり、続落した。需要の低迷が続くとの見方が大勢を占めており、需要家は値下げ要求を強めながら当用買いに徹している。底値感の台頭には時間を要するとの見方が強く、目先、弱基調の公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○		8月の県内出荷量は3万9千トン(合材協会調べ)で前年同期比21.5%の減少。大型物件が少なく、維持修繕など小規模工事向けが中心で商況は盛り上がり欠いている。ストアス価格の上昇基調を受けて、メーカー各社は販売価格に転嫁すべく需要家と交渉を進めている。一方、工事量減少が続く状況下、採算を確保したい需要家は値下げ要求を一段と強めている。交渉は平行線をたどっており、進展する気配はみられない。目先、横ばいとなる公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比変わらず。7月の県内新設住宅着工戸数は631戸で前年同月比30.1%の増加(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比4.4%の減少、貸家が同14.3%の増加などとなっている。全国的に需要の低迷が続くなか、相場は昨年からの下落傾向にあったが、市中在庫の整理が進むにつれて底値感が台頭している。市場では秋以降の需要回復も不透明との見方が多く、施工業者は当用買いに徹し様子見の姿勢。流通筋は採算悪化を懸念しており、これ以上の値下げは避けたい意向。目先、横ばいの見通し。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○		軽油はミニローリー渡しでリットル当たり137円、重油はローリー渡しでリットル当たり98円とともに前月比5円上伸。米国の原油在庫減少、利上げ観測の後退による需要回復への期待感から、需給引き締め観測が強まった。原油相場の上昇と円安進行から原油調達コストが増加し、元売り各社は仕切価格を引き上げ、流通筋も追従した。国内市況の高騰を受け、政府は燃料油価格激変緩和事業を見直し、補助の拡充を実施。今後は急激な値上がりは避けられるとみられ、目先、弱含みの見込み。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,850円と前月比変わらず。7月の輸入合板入荷量は15万m3で前年同月比37.9%の大幅減少(財務省調べ)。記録的な低水準での入荷が続き、市場におけるひっ迫感が顕在化。品薄感を背景に、流通筋は販売価格の引き上げに動いている。今後、流通筋は現地価格高と記録的な円安による先高観を背景に、売り腰を一層強める構え。先行き、強含みの公算が大きい。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○		200×100でトン当たり126,000円と前月比1,000円の続落。市中の荷動きへの影響が大きい中小建築需要は依然として精彩を欠いており、需給にタイト感は見られない。流通各社は仕入れ価格が下がらない状況下、現行価格を維持したい意向にあるが、数量確保を目的とした安値折り合いが目立つなど、ジリ安商況が続いている。需要低迷は長期化しており、今後、市況が底入れする要因は見当たらない。流通業者間の価格競争は続くともみられ、目先、弱基調の公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (5年9月)

区分	品名・規格	単位	青森		弘前		八戸		県平均		備考
			価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	14,800	0.0	15,600	0.0	17,500	4.8	15,967	1.7	
砕石等	洗砂	m3	3,500	0.0	3,400	0.0	4,900	0.0	3,933	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,300	0.0	4,400	0.0	4,900	0.0	4,533	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	0.0	3,700	0.0	3,533	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	114,000	-1.7	114,000	-1.7	114,000	-1.7	114,000	-1.7	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	117,000	5.4	117,000	5.4	117,000	5.4	117,000	5.4	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	
油類	軽油(ミニローリー渡し)	L	137.0	3.8	137.0	3.8	137.0	3.8	137.0	3.8	137,000円/kl
油類	重油(ローリー渡し)	L	98.0	5.4	98.0	5.4	98.0	5.4	98.0	5.4	98,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	126,000	-0.8	126,000	-0.8	126,000	-0.8	126,000	-0.8	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

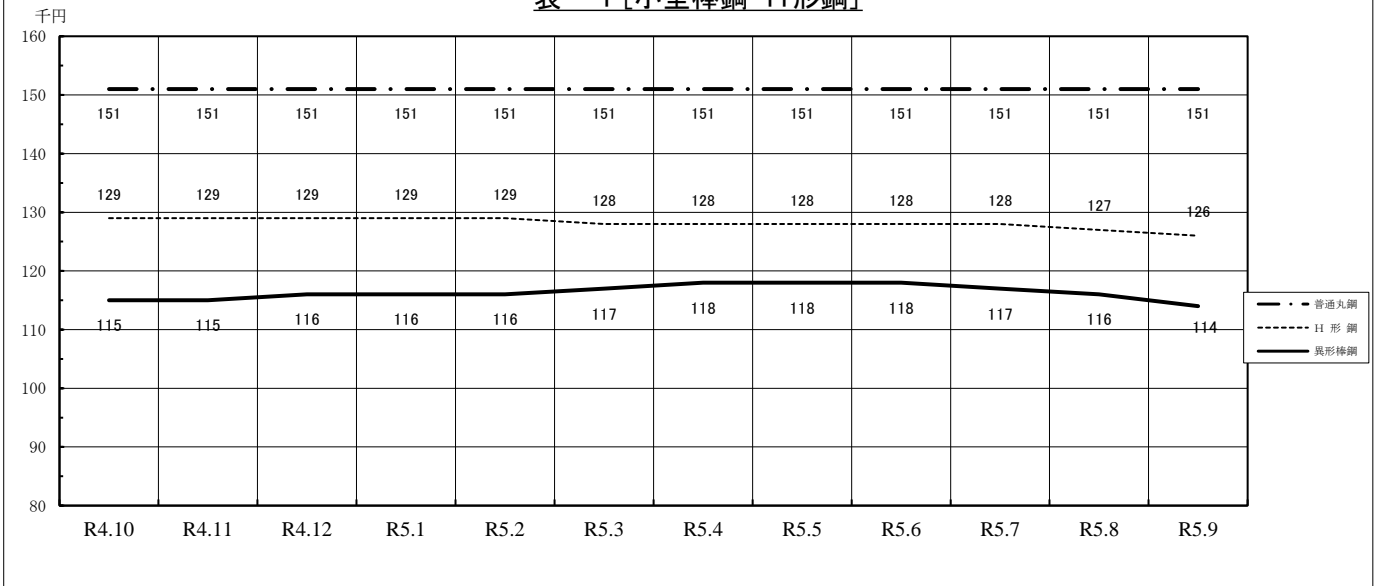


表-2 [セメント・生コン]

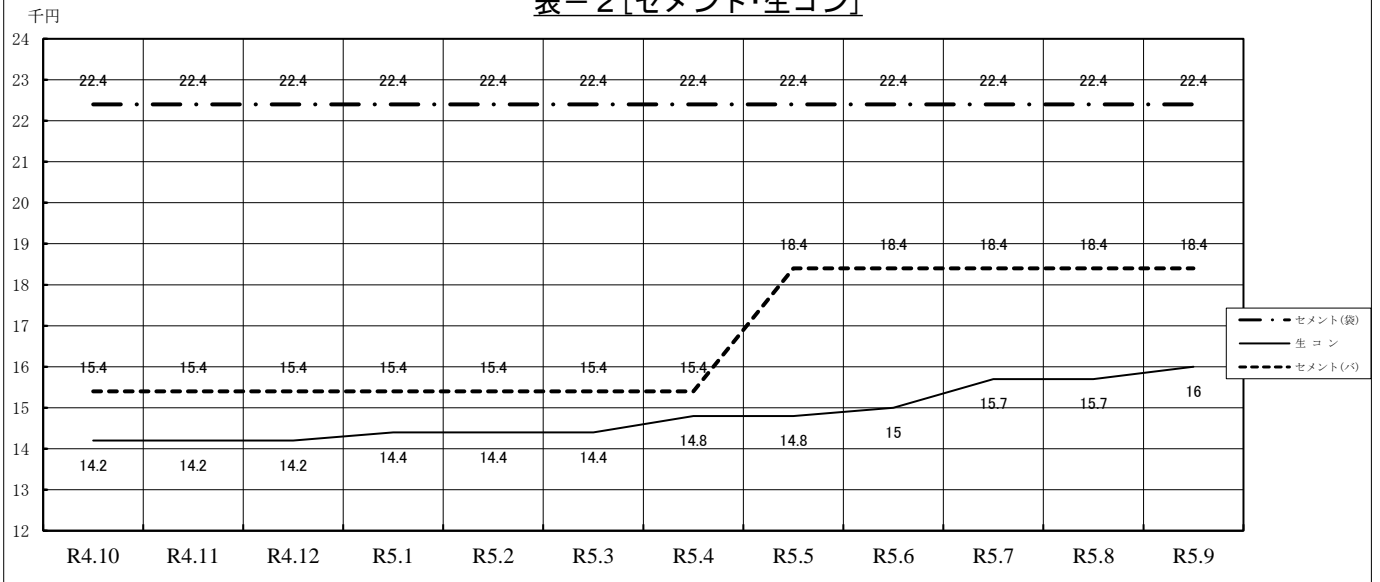
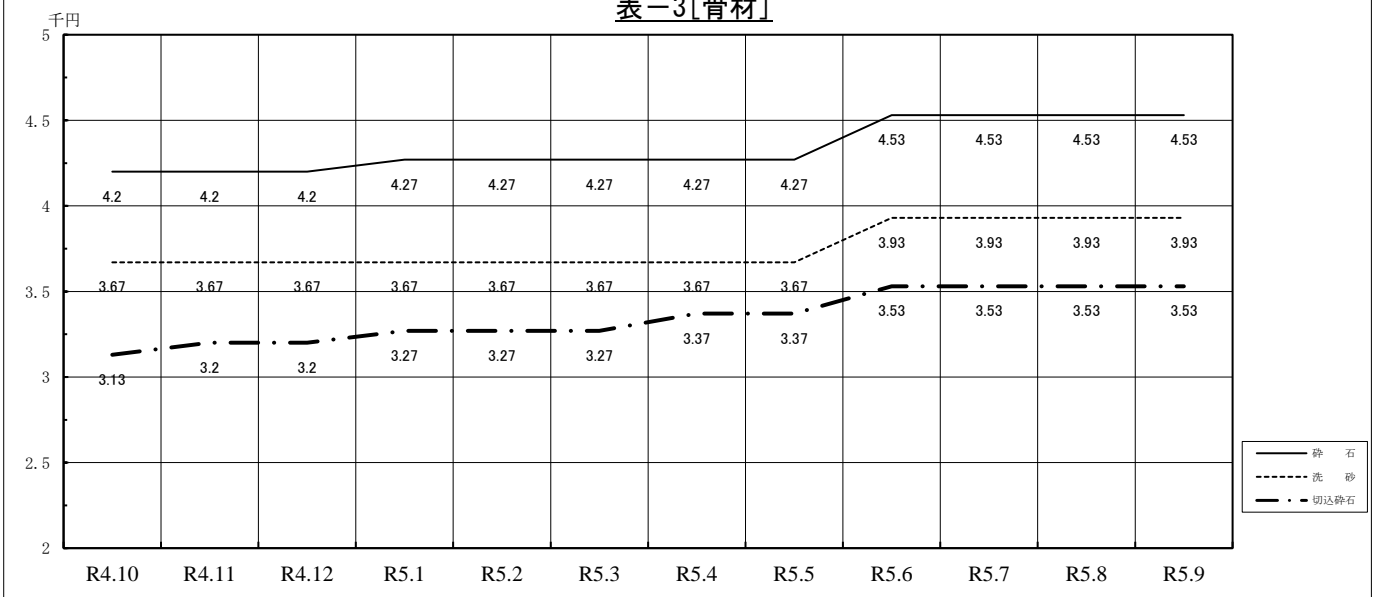


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

